

"誇れる伊賀市""選ばれる伊賀市"の実現に向けて IGABITO(伊賀びと)育成プロジェクト

◆背景

県内では、若者が大学進学時に転出することによる 人口減少が課題となっています。市では、近郊に大学 などの高等教育機関が少ないことからその傾向が特に 強くなっています。担い手となるべき 20 ~ 30 歳代 の若者の減少による労働力や地域活動の担い手不足な ど、市の将来にとって悪影響が生じることが懸念され ています。

一方で、中高生を対象としたアンケートでは、「できれば、これからも伊賀市に住み続けたい。」「一度は市外に出てみたいが、また戻ってきたい。」という回答が全体の6割を占めています。

伊賀市で生まれ育った若者の「住みたい」「住み続けたい」「帰ってきたい」という思いを育み、一度転出した若者の将来的なUターンと定住を促進する長期的視点に立った取り組みが必要です。

◆めざす IGABITO 像

IGABITOとは、自らが地域の担い手となり、より良い"伊賀"を創る意識、実行力を持った若者のことです。

地域の中で暮らしながら、主体性を持ち、自身が関わって地域を良くしていく意識を持つことが重要で、それを実現するためには「意欲」「知識」「実行力」が必要です。

< IGABITO 育成のポイント>

- 「将来的に定住・Uターンを志向する人材」の 育成 (人数の増加)
- ○「より良い"伊賀"を創る意識、実行力を持っ た若者」の育成(スキル・知識の向上)

◆実施プロジェクト

その1 伊賀市若者会議

B-TO"を発掘し育てるため 実現したほか、市が都市圏で行っ ている「伊賀上野N-NJAフェ 案された「忍者RUN」を、昨年 ど、市にゆかりのある18~35歳ま スタIN上野恩賜公園」や「伊賀ト 11月の伊賀上野シティマラソンで に発足した活動グループです。 での若者を対象として、昨年9月 に、市内在住・在勤者や出身者な これまでに、上高みらい学で提 「伊賀市若者会議」は、,一GA

> るなどしました。 査を行い、その結果を市に報告す 商店街」に参加し、アンケート調 野NINJAフェスタN天神橋筋

見て、撮って、発信する「インス タミート」の取り組みを行います。 の作成や、市の魅力的な場所・モ 情報を集めた「子育て支援MAP 考える市の課題に対して、その解 には、子育て世代に対して有効な 決策を企画・実行します。具体的 ノ・人をSNSを使って、来て、 今年度は、若者会議メンバーが



その② 「地域プロデュース」 上高みらい学 (上野高等学校)

業に参加してアドバイスを行う デュース」に取り組みました。 視点で解決策を考える「地域プロ 現状を理解し、高校生ならではの の魅力を再確認し、地域の素晴ら 貢献する人材を育成する」をテー ンバーが「先輩授業」と題して授 しさを発信する活動を通じて市の です。その中で、自分たちの郷土 マとした学校独自のカリキュラム は、「地域を支え、地域の発展に 取り組みの中では、若者会議メ 昨年度実施した上高みらい学



発表会では、2年生の代表が、発 2月13日に開催した昨年度最終

受賞を喜ぶ生徒たち

地域プロデュース案」を発表し

見した地域の課題に対する解決策

授業名で「地域プロデュース」を 動に取り組んでいます。 軸としながら、より幅広い探究活 今年度は上高みらい探究という





募

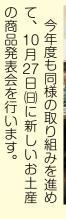
集

その3 伊賀のお土産開発プロジェクト 地域産品を活用した

伊賀白鳳高等学校

パートナー企業により商品化され 3年生がレシピ開発した4作品が お土産開発を支援し、昨年度は の産品を活用した伊賀の新たな ム科パティシエコースが行う伊賀 伊賀白鳳高等学校フードシステ





販売を行いました。 店で1日限定の高校生カフェを オープンし、開発したお菓子の 2月10日回には、市内の喫茶



だけではなく、県内外に広げる予 商品の企画・開発を行います。 定です。また、併せて新しい美容 今年度はピアニンの販路を市内



その4 美容関連商品の企画・開発 (あけぼの学園高等学校) 地域産品を活用した

化され、これまでに販売総数2万 を支援し、昨年度はオールインワ 産品を使った美容関連商品の開発 ティクリエイト部が行う、伊賀の 本を超えるヒット商品となってい ン美容ジェル「ピアニン」が商品 あけぼの学園高等学校ビュー

パートナー企業・ 団体を募集しています

連携して取り組んでいただける 業・団体」を募集しています。 しくはお問い合わせください。 「コラボレーションパートナー企 市では、IGABITO育成に

連携内容の例

- ○授業での講演
- ○お土産商品の共同開発、製造ま たは販売
- ○原材料などの提供
- ○生徒の活動スペースの提供
- ○生徒によるPRイベントなどへ の協力など





(問い合わせ)

総合政策課

